令和4年度 第3回 木更津市男女共同参画推進委員会 会議録

- 開催日時：令和4年9月30日（金）午後1時30分から2時45分
- 開催場所：木更津市役所 駅前庁舎8階 防災室・会議室
- 出席者：（委員）佐伯康子、藤森けい子、白井弘子、鳥飼優子、尾崎潤、影山尚美、
根本清志、竹内孝夫、石渡亮輝、河原林裕（敬称略）
（木更津市）石井企画部長、渡辺企画部次長、
野村オーガニックシティ推進課長、萱野係長、松木主任主事
- 議題及び公開又は非公開の別：
 - （1）共生社会に関する条例の制定について【公開】
 - （2）パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設について【公開】
 - （3）その他【公開】
- 傍聴人：なし

1 開会

（事務局：萱野係長）

ただいまから、令和4年度 第3回 木更津市男女共同参画推進委員会を開会いたします。本日の司会を務めさせていただきますオーガニックシティ推進課 萱野と申します。よろしくお願いたします。

本日の出席委員数は12名中10名であり、半数以上の出席を得ておりますので会議は成り立ちました。

なお、石井委員、小林委員より欠席の連絡がありましたので、ご報告いたします。

本会議は「木更津市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定により、会議は公開で行い、会議記録及び会議資料も公開となります。

2 部長あいさつ

（事務局：萱野係長）

それでは、会議の開催に際しまして石井企画部長よりご挨拶いたします。石井部長お願いたします。

（石井部長）

皆様、こんにちは。企画部長の石井でございます。

本来であれば市長が出席し、ご挨拶を申し上げるところですが、公務が重なり出席ができませんので、私から一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様には、大変お忙しい中「令和4年度 第3回 男女共同参画推進委員会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今年度、第3回目となります本日は、条例の素案及びパートナーシップ・ファミリーシッ

プ宣誓制度に関するご意見を頂戴できたらと考えております。

今年が木更津市制施行80周年に当たる節目の年となります。今後、100周年に向けて持続可能で活気に満ちた誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりをより一層進めていく所存でございます。

今回ご検討いただきます条例は、共生社会の実現へとつながる大変重要なものとなりますので、ぜひ忌憚のないご発言をいただければと存じます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

(事務局：萱野係長)

ありがとうございました。

それでは、附属機関設置条例第6条第1項により委員長が議長となることとなっておりますので、佐伯委員長に議長をお願いいたします。

3 議題1 共生社会に関する条例の制定について

(佐伯委員長)

では、議題の1 共生社会に関する条例の制定について を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

(事務局：松木主任主事)

まずお手元にごございます共生社会に関する新規条例制定に係る資料をご覧ください。

こちらの方に資料1から資料5までまとめてございます。資料1につきましては、前回の会議でお示したものに修正をしたものでございます。

それでは、資料2をご覧ください。

まず、1つ目の条例の性質についてですが、いわゆる理念条例と呼ばれる類型のものです。

続きまして2つ目、条例の位置づけにつきましては、本市では「木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例第3条に規定するオーガニックなまちづくりの基本理念において、「多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築すること」を掲げ、多様性に配慮した共生社会の実現に向けた取組を進めてまいりましたが、私たちを取り巻く社会経済情勢が大きく変化する中、これまでの取組を深化及び加速化し、この変化に的確に対応していくことが求められるようになってきました。

そこで、「オーガニックなまちづくり条例」第3条の基本理念に関する部分をクローズアップし、新たに条例化することによって、同条例を補完する役割を持たせることを考えました。

今回制定する条例の位置づけとしては、「オーガニックなまちづくり条例」を上位としつつ、共生社会推進に関する部分を具体化・明確化する、オーガニックシティきさらづを構成する重要な条例のひとつと考えています。

続きまして、3つ目の制定スケジュールですが、9月上旬から総務課との事前協議を開始し、政策調整会議、男女共同参画推進委員会、総合政策会議でご審議いただいてから、12月議会の常任委員会と全員協議会を経て、12月中旬から1月中旬までパブコメを実施しま

す。この時に大きな変更がなければ、3月議会での議決をもって制定という運びとなります。なお、詳細につきましては、後ほど資料5をご覧くださいと思います。

続きまして、4つ目の条例タイトル案ですが、前回の会議でタイトルが長いというご意見がありました。法律や条例のタイトルというものは基本的に長いものですし、あまりにも短かすぎると中身が全く伝わらずにそのまま気に留められることなく流れてしまうおそれがあります。ある程度条例の中身がイメージできる程度の具体的な文言があり、かつ、他市に例のない独自性を含んだタイトルであることが重要だと考えたため、このようなタイトルを選択しました。

なお、前回ご提案したタイトルの末尾は「多様性のあるまちづくり条例」としていましたが、他の条例との兼ね合い等を考慮し、「共生社会づくり条例」へと変更しました。

資料3につきましては、条例の解説となっております。

ここで、前回ご指摘いただきました、第6条にいきなり差別的取扱いの禁止というものが出てくるのですが、いろいろな条例を見てみましたらだいたい唐突に出てくるものが一般的でございました。逆に言うと、最初から最後まで禁止みたいな条例は基本的にないので、これは特に問題ないように思います。

前回の会議の後で、何かご意見がありましたらメールなり電話なりいただければという話でしたが、何もございませんでしたので、これを素案のたたき台として進めていきたいと考えております。

(佐伯委員長)

ありがとうございました。前回のちょっとした意見というものもちゃんと考えてくださった結果のものであると思います。それから江戸川区から東広島市まで8つほどのいろいろな条例も比較するという意味合いで付け加えてくださっております。そんなこともざっとご覧になりながら何かご質問があればぜひよろしくお願いをいたします。

(河原林委員)

もう一回改めて見させていただいて気が付いたところをご質問させていただきます。

最初のところの信条という言葉があるんですけど、割合、思想・信条と使われると思うので、そこを信条だけにされているのは何故かなと思ったのが一つです。それからですね、第2条の(5)なんですけど、文化が違うのは国籍や民族だけじゃなくて思想・信条や言語の違いとかもあるんで、あと方言が違う人を差別するとかもあると思うので、もう少しこれは検討した方がいいのではと思いました。あと、第5条に「他の主体」と、ここだけ主体という言葉が出てくるんですけど、他の市民や団体ということだったらそう書いていただいても意味が通るのかなと思ったんですけど。あと、6条のところも思想・信条の方がいいのかなと思いました。それから、第7条の括弧は全て施策で終わっているんですけど、(3)だけ「こと」で終わっているんで、これは努める施策というふうにさせていただいたらいいんじゃないかなと思いました。それから、第7条(4)のイと第8条の2が、ここだけ努めることとなっているので、「支援を行うこと」「措置を講ずること」としたらいいんじゃない

いかなと思いました。

(佐伯委員長)

事務局の方で回答できる場所をお願いいたします。

(事務局：野村課長)

前文と第6条に記載してございます信条に思想を含めるかについてですが、これは確認させてもらいつつ総務の法規担当と相談し、必要があれば追加させていただこうと思います。

第7条の基本的施策の(1)、(2)、(4)につきましてはそれぞれ施策とついているところ(3)だけ語尾が努めることとなっておりますので、こちら語尾を施策となるように修正してまいります。

第7条と第8条の中で、語尾を努めることという努力義務的な語尾で記しているところもございませう。これは最終的に市がどこまでできるのかというところを意思表示する文面でもございませうので、これも持ち帰らせてもらいまして、いただいたご意見を踏まえて、前向きな語尾にできるかどうかも含めて検討させていただきたいと思ひます。

また、前回の会議の場で第6条のところだけ努めるとか行おうという表現とは違ひうものが用いられており違和感を覚えられるご意見の一方で、こうした条文を意思表示として生かしていくというご意見も頂戴してあります。市としては、こうしたことは認められないということを示すということで条文として生かしてあります。

また他の主体という言葉についても、法規係と協議させていただきたいと思ひます。

(河原林委員)

第7条のアに「学校教育、社会教育その他の教育等の場において」ですけど、「その他の教育の場等」じゃないかと思ひうんですけど、ここもご検討いただければと思ひます。

(事務局：野村課長)

承知いたしました。

(佐伯委員長)

それでは、次に進ませていただきます。

4 議題2 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設について

(佐伯委員長)

それでは、議題の2パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の創設について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局：松木主任主事)

パートナーシップ宣誓制度に係る資料をご覧ください。こちら資料6から資料9までをまとめてあります。

まず資料6ですけれども、実施要綱の素案、たたき台を示してございませう。こちらは、基本的には東京都足立区と市川市をベースに作らせていただきました。

一般的にパートナーシップ制度というのは同性カップルを対象としたものなんですけど、こ

ちらは異性カップルも対象とさせていただきます。そして、ファミリーシップにつきまして、パートナーシップを結んだ相手方に子どもがいた場合、その子どもと自分との関係がただの他人になってしまうので、宣誓することでそこも家族として取り扱うというファミリーシップ宣誓制度も含まれております。

基本的に15歳未満の子どもを対象とする自治体が多いんですが、本市は親なども含められるようにしております。例えば、自分に孫がいるとして、その親、つまり自分の子ども達が事故などで亡くなってしまったときにお孫さんが宙ぶらりんになってしまうので、そういったケースでも対応できるように「等」という言葉を使いまして、なるべく範囲が広くとれるようにしました。これは、第2条の第2号の「ファミリーシップ・パートナーシップの関係にある者双方又は一方に子又は親その他市長が認める者」というところで、祖父母や孫などが入れられるように工夫をしております。

今ここでご意見をいただければいいのですが、会議が終わった後でゆっくりご覧いただいて、何かご意見などがございましたら2週間くらい期間を設けますので、ご連絡いただければと思います。

このパートナーシップ制度に関して、かずさ4市でなるべく足並みを揃えていこうと夏からずっとお話をしているところです。先日、4市で集まって会議を行った際にスケジュールなどについても協議いたしました。これについては資料7をご覧ください。

この制度を作る上で市民に何も聞かないで作るのは問題があると思うので、市民アンケートを行う予定でおります。このアンケートの実施時期につきましては11月か12月上旬の実施を検討しています。実施期間については、だいたい2週間から1か月を考えております。実施方法につきましては、紙のアンケートを行う予算と時間的余裕がございませんので、今回はインターネット調査を行うことといたしました。グーグルフォームのアンケートは、QRコードを読み込むと回答画面に飛んで、回答に関しても自動で集計されてグラフなども生成されますので、こちらを利用いたします。アンケートの内容については、資料8のアンケート案にお示ししてございます。こちらを4市で共有して行おうとしたのですが、どうもアンケートの項目や時期などで足並みが揃いそうになさそうな状況ですので、単独であっても実施する予定で考えております。

アンケートの範囲につきましても、市内に限らず、どこからでも回答は可能にしています。どこから回答したのかという項目を用意してあるので、後でソートが可能になっております。

次に資料の8ですが、こちらがアンケートとなっております。現在、4市の職員で行っているLGBTQ+研修のアンケートと中身はだいたい同じで、市の職員に関する部分だけが除かれております。

この制度を作る上でのスケジュール案が資料9にまとめてありますので、後ほどご覧ください。

(佐伯委員長)

ありがとうございます。実施要綱案をお示しく下さいましたけれども、それが変更されることもあり得るということですよ。

(事務局：松木主任主事)

そうですね。何かもしあれば、どうしても気づかないことというのが出てくるので、できる限り多くの人の意見をお伺いしてよりよいものを作りたいと思います。

(河原林委員)

この制度で実際にパートナーになった方にはどういうメリットがあるかを明確に伝えていただきたいです。

(事務局：萱野係長)

今この時点で明確に提示できるものはないのですが、職員向けに行っている研修「LGBTQ+ってなんだろう」を見ていただいて、事務局から各課に対して行政としてどんなサービスができるかという照会をこれから行うところです。照会をかけるに際して、オーガニックスティ推進課でこういったサービスが考えられるというのを投げた上で、回答をいただく予定です。現時点で提供可能であると思われるのは、市営霊園の利用であったり、市営住宅の入居に関することや保育園の申請をパートナーでもできるようになること、そして中央病院での入院や手術の同意であったり、病状の説明を聞く席にパートナーやファミリーの方にも同席ができることなどを考えております。細かいことについてはこれから検討していきたいと思います。

(佐伯委員長)

制度が実施されるときにはメリットも伝わるように盛り込まれたものになるということですか。

(事務局：萱野係長)

はい。進めていくにあたってどんどんサービスが増えていって、企業などの福利厚生も含めてメリットが提示できるように進めていきたいと考えております。

(事務局：野村課長)

当然ながら行政のサービスとしてこの制度を導入した際に提供できるものもあると思います。本日は企業様から選出されている委員様も数多くいらっしゃいますので、市内の企業の中でパートナーシップ制度に関する福利厚生の中で何か動いてらっしゃるとかご検討されている企業様があれば、ぜひ情報として提供していただいて、そういったところも含めて周知させていただければより厚い制度になっていくと思います。

(河原林委員)

今言ったような保育園の申込などは国の制度を変えなくても木更津市だけでできることなので、こういう制度と連動してやっていってもらえたらありがたいと思うんですけど、相続なんかは国の制度が変わらないと難しい部分もあると思うので、できるだけメリットを打ち出してやっていただくとありがたいです。それと、これを異性間でも使えるというのは

すごくいい考え方だなと思います。

(鳥飼委員)

中央病院の話があったのですが、入院にかかるものとか手術に関わるものとかって、多岐にわたって家族じゃなきゃだめっていうものが多いと思うので、限定しないで、一般の親族ができることは全てこれでできるようにしていただけたらなと思います。

(佐伯委員長)

今日初めてご覧になると思うので、2週間くらいを目途にご意見を寄せていただけたらと思います。

今日検討している2つのことは、時代の流れの中で、これがもしきちんとした形で制定できれば暮らしやすいまちになると思いますので、我々も一生懸命検討して何か意見があれば言いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(河原林委員)

4条に戸籍などの必要書類が書かれているんですが、婚姻届だったらそういうものはいらなないんですけども。

(事務局：松木主任主事)

現状、婚姻している人はこの制度を使うことができないので、結婚していないことを証明してもらう必要があります。ですので、婚姻届などよりは必要書類が多くなっております。

(鳥飼委員)

里親の制度を使いたい場合などは入っているのですか。一時的に子どもを預かるケースについても考えていただければと思います。

(尾崎委員)

申請に当たっての様式について、自署が必要なのはパートナーシップに関してのみで、ファミリーシップには必要ないのでしょうか。

(事務局：松木主任主事)

ファミリーシップの場合、15歳未満の子どもについて本人の同意は必要ないのですが、それ以外については自署による同意書を提出してもらうこととなっております。

(尾崎委員)

アンケートについては、こういった形で周知されるのですか。

(事務局：松木主任主事)

もし間に合えば広報に掲載したいのですが、ちょっと間に合いそうもないので、市のホームページ、ツイッター、フェイスブックに掲載し、あと県男女共同参画課のメールマガジンや県男女共同参画センターのツイッターにも掲載させてもらい、できる限り多くの方の目に留まるようにしたいと思います。

(竹内委員)

制度そのものはそれぞれの市で作ると思うんですが、相乗りできるようなところはあるんですか。

(事務局：野村課長)

神奈川県や埼玉県では、当然自治体ごとに制度は創設できるんですけども、近隣の複数の自治体さんが同時期に制定をして制度をスタートさせております。この方たちが近隣に移動したときに同じ制度であれば、手続きが簡略化できるようなメリットがございます。

(竹内委員)

千葉県下で制度を導入されている自治体はどのくらいあるんですか。

(事務局：野村課長)

千葉県は少なく、千葉市さんが最初に性別を問わないものを制定し、松戸市、市川市、船橋市、浦安市と作っているんですけど、千葉市より南の自治体ではゼロです。

生活圏が同じ4市でなんとか足並みを揃えられないかというところで協議させていただいております。

(佐伯委員長)

それでは、この2つについてはこのあたりで終わらせていただきます。

5 議題3 その他

(佐伯委員長)

それでは、事務局から連絡事項等ございましたらよろしくお願いいたします。

(事務局：松木主任主事)

今年度の予定ですが、あと2回会議を開催したいと考えております。10月下旬と11月下旬に開催したいと考えておりますので、日程をなるべく早く決めてお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(佐伯委員長)

長時間にわたりまして本当にどうもありがとうございました。これで本日の議題につきましては終了させていただきたいと思っております。進行を司会の方へお渡しいたします。委員の皆様方ありがとうございました。

(事務局：萱野係長)

以上で令和4年度 第3回 木更津市男女共同参画推進委員会を閉会いたします。

委員の皆様、長時間にわたりどうもありがとうございました。お疲れ様でございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和4年10月17日

木更津市男女共同参画推進委員会委員長

佐伯 康三